四月月浪能特別会

四月十日（日）
午後一時始
正午開場
於　宝生能楽堂

13:00

国栖

シテ　宝生和英
ツレ　高橋憲正
子方　宝生知永
天女　當山淳司

ワキ　殿田謙吉
ワキツレ　御厨誠吾
〃　吉田祐一
間　山本則重
山本則秀

大鼓　柿原弘和
小鼓　飯田清一
太鼓　金春惣右衛門
笛　一噌庸二

地謡　佐野弘宜　東川尚史　小倉伸二郎　渡邊茂人　辰巳満次郎　田崎隆三　今井泰行　大友順

後見　前田尚廣　武田孝史　田崎甫

14:20

土筆

シテ　山本東次郎

アド　山本則俊

〈休憩十五分〉

14:45

鸚鵡小町

シテ　小林与志郎

ワキ　宝生欣哉

大鼓　安福光雄
小鼓　曽和正博
笛　藤田次郎

地謡　藪克徳　澤田宏司　和久荘太郎　水上優　東川光夫　大坪喜美雄　佐野由於　山内崇生

後見　高橋章　藤井雅之　川瀬隆士

17:00

道成寺

シテ　金森隆晋

ワキ　野口能弘
ワキツレ　則久英志
〃　梅村昌功
間　山本則孝
山本凜太郎

大鼓　亀井洋佑
小鼓　田邊恭資
太鼓　梶谷英樹
笛　小野寺竜一

鐘後見　山本東次郎　若松隆　山本則秀　内田敦士

地謡　金野泰大　内藤飛能　小林晋也　佐野登　金井雄資　小倉健太郎

後見　金森秀祥　亀井雄二

鐘後見　宝生和英　野月聡　佐野玄宜　辰巳大二郎　金森良充

〈休憩十五分〉

終演予定十九時頃

演目の解説

能「国栖」（くず）

舞台は吉野山、時は壬申の乱。夫を追って皇后が吉野の里に現れ、一行は船で浄御原へ向かう。船頭の姿に武天皇の面影を見た皇后は、天武天皇に献上する芋を供えて、静かに舞う。やがて天皇の霊が現れ、芋を受け取り、舞を所望する。皇后の舞に応じて、天皇は自ら舞を舞い、天下の平和を祝福する。

能「鸚鵡小町」（おうむこまち）

近江の国の関寺に、小野小町と言う歌人が住んでいた。ある時、帝から歌を所望され、小町は新しい歌を作ろうと思い、関寺の小僧に相談する。小僧は、小町の歌は高い境地にあるから、凡人には理解できないと言う。小町は、自分の歌が理解されないのは、自分が高い境地にあるからだと納得する。

能「道成寺」（どうじょうじ）

紀州道成寺の鐘再興の日、女人禁制の寺に、一人の白拍子が入り込む。舞台は、人間と鬼の境界線が曖昧になる、特殊な空間。白拍子は、鐘の中に隠れた蛇の正体を見抜き、鐘を引き下ろし、蛇を退治する。

チケット料金
（税込）

S席	13,200円
A席	11,000円
B席	9,900円
C席	8,800円
D(自由)席	6,600円

ご購入は、各能楽師
または
オンラインチケット
・宝生会事務局まで